PICK UP！在宅医療機関　012

かりん在宅クリニック

田中亮嗣

院長

03-4400-4678

karin-clinic.jp

東京都墨田区京島一丁目1-1
イーストコア曳舟一番館216号室

ビジョン

当院の理念は"患者さんの「自分らしく生きる」を支えたい"です。墨田区、近隣区の皆様が安心して在宅医療を受けられる地域にすることが当院の使命だと思っています。

注目の在宅医療機関へのインタビュー取材「PICK UP！在宅医療機関」の第12回目は2024年5月に東京都墨田区にて「かりん在宅クリニック」を開業された田中亮嗣院長です。これまでの歩み、かりん在宅クリニックや今後の展望についての思いを熱く語っていただきました。（2025年1月取材）。

身近な人を助けたいという思いから医師に

先生が医師を目指したきっかけについて教えてください。

両親が理学療法士と作業療法士だったので、子どもの頃から身近なところに医療があったように思います。一番のきっかけは、高校生の時に祖父の死を経験したことです。がんだったのですが、見つかった時には、もう根治を目指せるような状況ではなかったんです。もし自分に医療の知識があれば、今後も家族や身近な人々を助けてあげることができるのではないかと思い、医師を目指すことに決めました。

大学時代で思い出に残っていることなどはありますか。

生まれ故郷の鹿児島から出てきて、横浜市立大学に進学したのですが、学生時代はアメリカで医師として活躍することも選択肢の一つとして勉強していました。UCSD（カリフォルニア大学サンディエゴ校）に1ヶ月の研修に行かせてもらったこともありました。老年医療科というところで高齢者医療全般を学んだのですが、各科で分かれずに総合的な視点で医療を実施している点で、日本の大学との違いを感じました。また、他の国からも意識の高い学生が集まっており、とても刺激を受けました。この時には既に将来何科に進むとしても幅広く患者を診れるジェネラリストとしての力は付けておきたいと思っていたと思います。

UCSD（カリフォルニア大学サンディエゴ校）にて

何を聞かれても答えられる医師になりたい

卒業後の研修はどうでしたか。

沖縄県立中部病院で研修を受けました。ここでは本当に内容の濃い経験をたくさん積ませてもらいました。オンザジョブトレーニングの体制が整っており、若手の研修医であっても、責任のある仕事を任せてもらえました。上級医の先生によるフォローをしっかり受けながら裁量を持って現場に出ることができたため、とても成長することができました。

2年目の医師が30人ぐらいの患者さんを管理して、経験豊富な指導医らに意見を求めつつ、主体的に治療方針を決めていました。学生時代に見学に行った際にはそこの先生方は大変優秀だと思いました。実際、学生時代にも優秀だった方々が集まってくるとても意識の高い集団でした。

そこでの繋がりや仲間は今でも私の大切な財産です。私もその中で、内科、救急、外科や小児科、産婦など本当に幅広く数をこなすことができました。
その後、聖路加国際病院に移りました。そこでは治療内容に関してエビデンスを示すことが強く求められ、患者様への説明の仕方や後輩や看護師への接し方などにも気を配ることの大切さを学びました。
こちらにも大変優秀な先生方が集まっており、皆様から刺激を受けて、更に自分を伸ばすことができたと思います。

内科に注力したいと思った理由は何だったのでしょうか。

やはり内科というのは、オールマイティーな科だと思うんです。今後専門医になるとしても、まずは幅広い知識を土台として持っておきたいという思いがありました。患者さんに質問されたときに「専門じゃないから分からないです」というようなことは、あまり言いたくないなと。

人にしかできない医療をやりたくて在宅医療の世界へ

聖路加国際病院で勤務された後、在宅医療の分野に転向されたきっかけについてお聞きかせください。

聖路加国際病院で勤務している頃は、がん治療の専門医になろうと考えていました。でもちょうどその頃から、AIや人工知能といったテクノロジーが急速に進展し始めていました。今、人間がやっている仕事はAIが代わりにできるようになってきていると思います。AIの成長は我々の予想を大きく上回るので、規制緩和や国の制度的な問題はあるにせよ、医師の業務にもAIが入ってくる可能性は高いと思いました。
自分はこの先どんな医師を目指したらいいのか。そのように迷っていたときに出会ったのが在宅医療でした。
自分が診ていて、在宅医療に引き継いだ患者さんがその後どのような生活を送られているのか、気にはなっていた中で、在宅での看取りや緩和治療に力を入れている、在宅クリニックに見学に行ってみることにしました。

つばさ在宅クリニックでの診察時

見学に行ってみてどうでしたか。

すごいなと思いました。在宅でここまでできるのかという驚きを感じたことを覚えています。当時は在宅医療のことをほとんど分かっていなかったので、大した治療はできないんじゃないかと思っていました。でも実際の現場を見てみると、病院でやっている治療とほとんど変わらないようなこともされていました。
患者さんと医師の距離の近さも、自分にとってはかなり新鮮でした。単に病気だけを診て治療方針を説明するだけではなく、患者さんの考え方や価値観を尊重していて、患者さんが置かれている生活環境や、家族の思いにまでしっかりと寄り添う姿勢に、ハッとさせられました。
患者さんとの心の通った会話は、人生にまで踏み込んでいく医療は人間にしかできないんじゃないかなと。自分が進んでいきたい道は、人としての強みを活かした医療だなと思い、在宅医療の道に進むことを決めました。そのまま、見学したクリニックで働かせてもらうことになり、2年ほど修行を積みました。

続きはQRコードからアクセスしご覧ください　→ → →

おうち de 医療

在宅医療com株式会社
〒107-0062　東京都港区南青山3-1-36青山丸竹ビル6F
070-4504-7400 / service@zaita9iryou.com